

町生涯学習センター事業 新甲佐町史歴史研修会

『民家の変遷～多棟分棟から二棟造りへ そして田の字型へ～』

新甲佐町史では、自然環境、生物、原始・古代、中世、近世、近代、現代、民俗、緑川の9つのテーマに沿い、甲佐の歴史に迫りました。

これらの甲佐の歴史について、令和6年度も研修会を開催します。

肥後藩主細川忠利は、肥後入国の翌年寛永10年（1633年）に領内掌握の為に人畜改帳を提出させました。

人畜改帳によると、民家は、本屋・かま屋・へ屋（親へ屋、子へ屋）・持仏堂など多くの棟が並ぶ多棟分棟の状況でした。その後、本屋とかま屋の棟が並ぶ二棟造りへさらにこの二棟が合併した四間造りの田の字型へ変化しました。

甲佐町谷内の渡辺昌視氏宅は、代表的な二棟造りの家として研究者によって紹介されましたが、その後、昭和51年頃に解体されました。

多棟分棟から二棟造りへそして田の字型への変遷、さらに昔話「ヘヤの起こり」を紹介して家と家族のあり方について学びます。

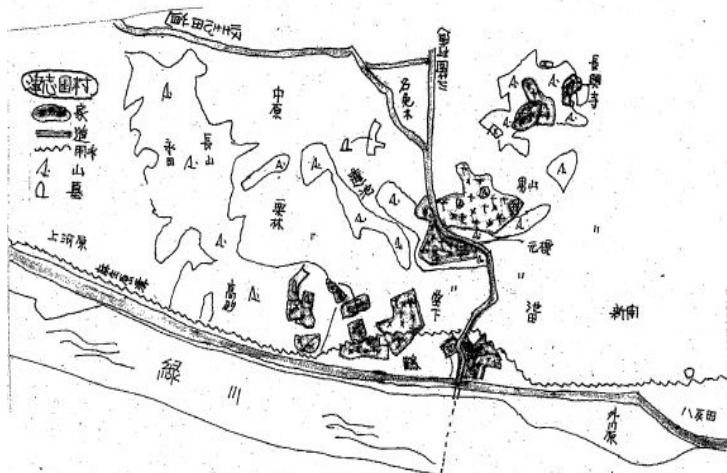
皆様、お誘い合わせの上、奮ってご参加下さい。

日 時 令和6年11月23日（土） 開会：午前10時00分

場 所 甲佐小学校（多目的ホール）

講 師 元新甲佐町史編集委員長 佐藤 征子 氏

その他 入場無料



明治初期の津志田村の様子（甲佐町郷土史研究会編 2004『明治初期の甲佐』より）

主催・問い合わせ
甲佐町教育委員会
社会教育課 上高原 奥村
Tel 096-234-2447